

発言No. 1

受付No. 6

令和2年11月 18日
11時40分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 飛 野 弘 二

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 元気な中山間地域振興の仕組みづくり「パートⅡ」について

少子高齢化、過疎化の歯止めがかからない中、本来ならコミュニティが得意で取柄な地域だけに今回のコロナ禍で3密を避けるため、祭りをはじめ集落行事・イベントなどの自粛で一番大事な意志の疎通手段を分断された。いまこそ、元気な中山間地域振興の仕組みづくりに挑戦する待ったなしの状況と受け止めている。仕組みをつくることにより、引き続きこの素晴らしい中山間地域に今後も安心して住み続けることができるようにしなければならない。仕組みづくりの主役は、その地域に暮らし、今日まで豊かな自然を守り、伝統文化を継承し、そして、次の世代にこれを引き継いでいこうとする住民の皆さん一人一人である。そして行政はこの活動に参画し、仕組みづくりを積極的に進めていく必要がある。

(1) 100年に一度とも言われ、我々誰もが経験したことの無い世界を巻き込んだ新型コロナウイルスの感染拡大の早期終息を願う活動について

「コロナ」よ鎮まれ！今、「アマビエ」がSNSで話題沸騰中！肥後の国（熊本）の妖怪で豊作や疫病などに関する予言をしたと伝えられる。「アマビエ」のマスコットやグッズが飛ぶように売れているとの事。一方、浜田市でも秋祭りの奉納神楽が姿を消す中、有福神楽保存会が新型コロナウイルス早期鎮静化を願って疫病を退治する「鍾馗」などを自主的に奉納した。また、亀谷窯業は、コロナ禍の影響で難局に直面する企業の経営の一助になればと疫神（疫病）を退治する「神楽ぐい飲み鍾馗」を無料配布した。他市では、石見空港では鍾馗の衣装で搭乗客を出迎えた。美都温泉でも鍾馗衣装で客を出迎えた。出雲の直江一式飾り保存会も「鍾馗の一式飾り」新作展示した。などなど、報道は沢山ある。

- ① 浜田市において石見神楽という的を射たツールの活用状況を伺う。
 - ② コロナ禍により地域の祭りやイベントなどの中止により活動の場を失った社中への新たな支援対策を伺う。
 - ③ いまこそ浜田市は「日本遺産石見神楽」を日本はもとより、世界に発信するチャンスと責任があると思うが所見を伺う
- (2) 農業の将来像を描く「集落戦略」の策定について
- 中山間地域等直接支払制度の5期目の対策に入った。6~10年後の農地を誰が耕作するかを記載した「集落戦略」がなければ満額の交付を受けられないようにした。高齢化が進む中山間地域で農業や集落を維持するための将来像を描くよう求めるのが狙いである。高齢化で解散するなど面積、協定数減少も大きい。特に、条件不利地の急傾斜地で顕著に表れている。担い手、後継者不足に加え事務作業や強いまとめ役の育成が急務である。また、解決の糸口は広域連携組織の立ち上げなどが考えられる。
- ① 浜田市において、今の「集落戦略」策定状況を伺う。
 - ② 広域連携組織立ち上げ取組状況と課題を伺う。
- (3) 特定地域づくり事業について
- 人口減少が激しい中山間地域の人手不足を解消するため、国が新たに設けた事業で海士町が全国初の認定を目指していて、年内にも事業化したいと報道があった。
- ① 浜田市もいち早くこの事業に取り組んでいるが改めて現在の検討状況を伺う。
 - ② 対象事業者は第1次産業も視野に入れて検討すべきと考えるが所見を伺う。